

埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)の連携イメージ

Special Mobile Assistance Rescue Team

全国で発生している地震による建物倒壊や列車脱線事故などを教訓として、彩の国レスキュー隊を発展的に改組し、県内の大規模な災害現場に、知事の指示又は要請に基づき、高度な救助資機材を装備し特別に訓練された機動救助隊、防災航空隊、災害派遣医療チーム(埼玉DMAT)が迅速に出動し、効果的な救助・医療活動を行う埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)を18年7月に創設した。

埼玉DMAT (災害派遣医療チーム)

被災地に迅速に駆けつけ、応急救護活動を行う災害派遣医療チーム。県内の災害拠点病院のうち、下記22病院から派遣される。

Disaster Medical Assistance Team

- 川口市立医療センター
- 埼玉医科大学総合医療センター
- 獨協医科大学埼玉医療センター
- さいたま赤十字病院
- 深谷赤十字病院
- 防衛医科大学校病院
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 埼玉県済生会川口総合病院
- 埼玉医科大学国際医療センター
- さいたま市立病院
- 新久喜総合病院
- 壮幸会行田総合病院
- 国立病院機構埼玉病院
- 埼玉県済生会加須病院
- 北里大学メディカルセンター
- 草加市立病院
- 埼玉医科大学病院
- さいたま市民医療センター
- 上尾中央総合病院
- 羽生総合病院
- 埼玉県立小児医療センター
- 戸田中央総合病院

消防機関

(埼玉県下消防相互応援協定)

埼玉県下消防相互応援協定

県内で発生した災害に対応するため各消防機関間で応援の協定を締結。県内26消防(局)本部に所属する指揮隊、消火隊、救助隊、救急隊等で構成されている。

【第1ブロック】

- 川口市消防局
- さいたま市消防局
- 蕨市消防本部
- 上尾市消防本部
- 戸田市消防本部
- 埼玉県央広域消防本部

【第2ブロック】

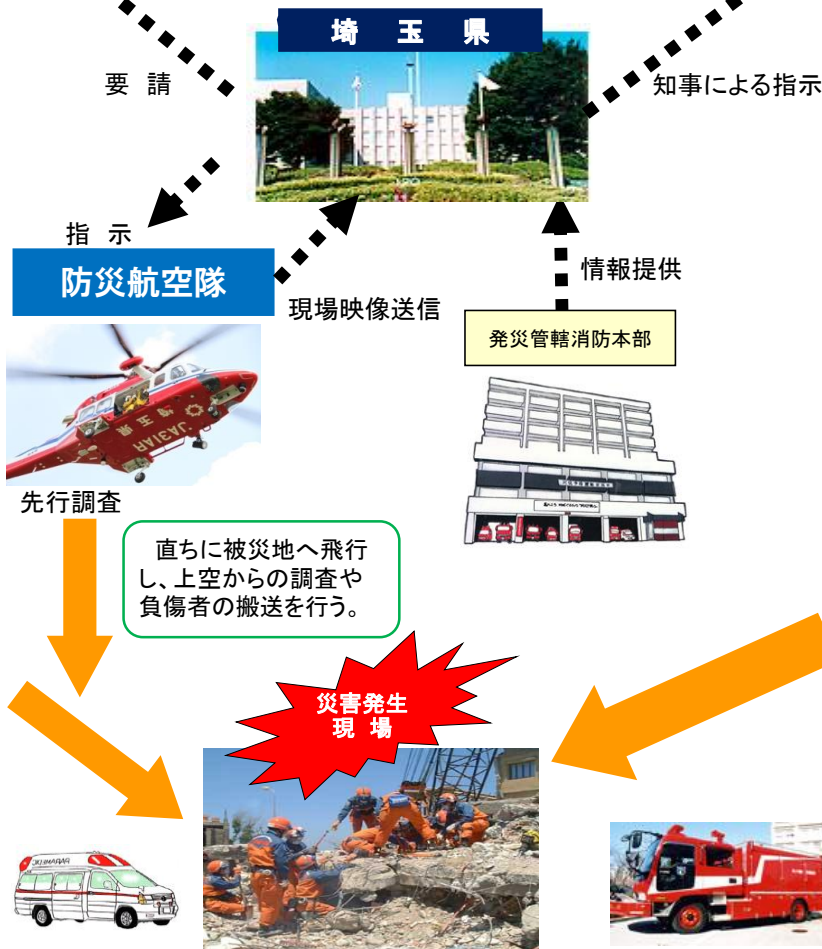
- 川越地区消防局
- 埼玉西部消防局
- 比企広域消防本部
- 埼玉県南西部消防局
- 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部
- 入間東部地区事務組合消防本部
- 西入間広域消防組合消防本部

【第3ブロック】

- 熊谷市消防本部
- 行田市消防本部
- 秩父消防本部
- 児玉都市広域消防本部
- 深谷市消防本部

【第4ブロック】

- 越谷市消防局
- 羽生市消防本部
- 草加八潮消防局
- 春日部市消防本部
- 蓮田市消防本部
- 三郷市消防本部
- 埼玉東部消防組合消防局
- 吉川松伏消防組合消防本部



先行調査

直ちに被災地へ飛行し、上空からの調査や負傷者の搬送を行う。

災害発生現場